

市議会議員  
かけのまち子

電話/Fax 53-7727  
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員  
みわ 陽子

電話/Fax 54-6712  
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO. 469 2020.10.22  
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753  
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

\* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP



検索

# 新ごみ処理施設の入札中断、建設業者が不可解な用地取得 異常な入札を中断し、調査するのは当然のこと

新ごみ処理施設の入札妨害と入札要件の変更（土木工事の協力企業要件の見直し）を議題とした尾張北部環境組合の全員協議会が21日、開催されました。

入札中断の理由は、多くのプラントメーカーが地元協力企業を見つけられないために入札に参加できなくなっており、競争性が担保できない状況等を考慮した結果とのことでした。

入札の中断をめぐり10月6日、尾張北部オンブズマンの会を名乗る団体から、「告発」という名の「怪文書」が各市町や尾張北部環境組合と議員、2市2町の日本共産党議員団に届きました。「告発」は、入札を中断した組合を批判し、入札要件を変更せずこのまま1社でも入札を継続するよう求める異様な内容で、差し出し人は不明。2市2町の日本共産党議員団は協力して調査し、「怪文書」の背

景、出所を探っています。

調査の中で、ごみ処理施設用地のうち県道沿いの3筆がいまだに組合に売られず、最近になって建設業者が相次いで取得していた不可解な事実を突き止めました。組合議会では、これらの業者が、一旦、組合への売り渡して仮契約しながら、入札要件見直しの可能性が出てきたことを理由に仮契約を反故にしてきたこともわかりました。

この業者らが用地を手に入れた意図と背後関係は、入札妨害の解明に欠かせません。

日本共産党議員団は、尾張北部環境組合や構成市町に対し、しっかりと真相を解明し公正な入札の実施に努力するよう求めています。

## 10月臨時会で再追加のコロナ対策

19日の市議会臨時会で、新型コロナ対策の再追加補正予算が提案され可決しました。臨時交付金を活用した10事業(事業費2328万円の減額、交付金充当額708万円)で、これまでの対策の実績を踏まえ、予算の残額を他事業に振り向けるものも含まれています。主な補正予算は

- 高齢者のインフルエンザ予防接種、助成費の財源変更  
県補助金2581万円、臨時交付金2102万円を充て、市一般財源を減額
- 江南市事業者応援事業(売り上げが減少した事業者への市独自の10万円給付) 申請が少ないため5624万円減額
- 保育園の感染症対策(冷凍冷蔵庫、ビデオカメラなど) 1361万円
- 江南緑地公園(草井)に水道設備の整備 1355万円
- GIGAスクール対応、協働学習支援ソフト等使用料 3911万円

## GIGAスクール、来年4月開始 パソコン支援員の配置を急げ

国はすべての小中学生に1人1台のタブレットを配布するGIGAスクールを超特急で進めています。

市議会9月定例会では、全小中学生用に8,248台のタブレットを3億7115万円で購入する契約を可決。来年4月からGIGAスクールがスタートします。今後、教科書も紙からデジタルに順次移行することになります。

GIGAスクールはICT教育とは別物です。経済界からの要求で、教育を市場化する目的で推進されています。コンピューターが管理する学習履歴に基づき、一人ひとりの子どもに最適な学びが与えられるとしています。

しかし、集団の中で学びあい人格の完成を目指す学校教育の在り方が、根底から壊されはしないでしょうか。先生たちの更なる多忙化も心配です。党議員団は、1校1名以上のパソコン支援員の配置を求めています。

## もとむら伸子衆院議員を迎え、国政報告会



18日(日)、江南市民文化会館で、もとむら伸子衆院議員を迎え国政報告会を開催。板倉正文愛知10区政策委員長も訴え、約200人にご参加いただきました。

冷酷、強権ぶりをあらわにしている菅政権を、市民と野党の共闘で倒し総選挙で政権交代をと、いつもながら元氣いっぱい、熱のこもった訴えでした。大きな募金箱一杯に、カンパをいただき、期待の大きさをひしひしと感じました。

## 草井小の屋上に自衛隊機の騒音測定装置

江南の党議員団や平和委員会が繰り返し要求してきた、江南市内への岐阜基地自衛隊機の騒音自動測定装置の設置が実現しました。



9月10日、草井小学校の屋上に設置され、常時測定が開始されています。測定結果は、東海防衛支局のHPで1カ月ごとに公開されています。江南市HPから簡単に測定結果にアクセスできるよう要求中です。

試験飛行が再開されたF35

一方、新型コロナの影響でしばらく中止されていたF35戦闘機の試験飛行とそれに伴う岐阜基地でのタッチ&ゴーの試験飛行が10月上旬から再開されました。市内北部の騒音被害がひどくなっています。

F35の日本配備は計147機にもなる計画で、6兆円を超える税金が投じられることとなります。

コロナ禍で苦しむ市民への生活支援にこそまわすべきです。